

## 港区を歩く⑬ 赤坂南部

今回は、地下鉄千代田線と六本木通りに囲まれた赤坂の南部(赤坂2丁目、6丁目、六本木2丁目)を歩きました。

赤坂駅、溜池山王駅に近い北東部は繁華街、東京ミッドタウンに隣接する南西部は住宅街です。

まずは、この地区の北東側。表通りではなく、小路を中心に歩きました。



A 溜池山王駅近くの飲食店等が並ぶ小路。



B 高低差のある地形。石畳の階段は繁華街と背後の住宅地をつないでいます。



C 表通りから1本裏に入った国際新赤坂ビル付近の景観



D 表通りと直交する小路。洒落た飲食店が並びます。

## 港区を歩く⑬ 赤坂南部

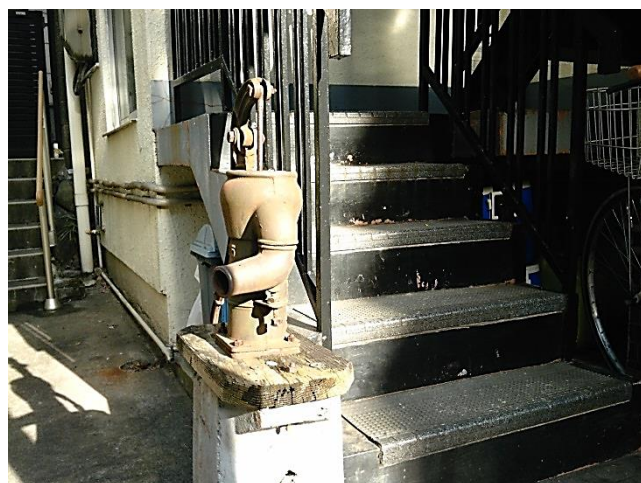
南西に向かうにしたがって住宅の割合が増えてくるようです。

突き当りには、檜町公園があります。檜町公園は港区の区立公園(面積1.4ha)で、東京ミッドタウンの建設に併せて2007年に再整備されました。

公園の北側の一画は、ちょっと不思議で懐かしい感じのするエリアでした。(写真F、G、H)



E 広々とした檜町公園から東京ミッドタウンを望む。



F 階段を上がるとアパート。その入口にあった古い井戸。



G 袋小路の住宅地。



H 左写真から奥に入った一画。突き当りの樹木は日本銀行氷川分館のものと思われる。

## 港区を歩く⑬ 赤坂南部

最後は赤坂氷川神社周辺です。  
951年設立と伝えられる赤坂氷川神社。道をはさんで隣は日本銀行氷川分館。このあたりは緑豊かで深閑としていました。

氷川神社の南側には、特徴ある建築物の在日米  
国大使館の職員宿舎があります。米国大使館と直  
線距離で約500m。

撮影日：2015年1月26日



**I** 赤坂氷川神社脇の「本氷川坂」。左が神社、右は日本銀行氷川分館。今回のエリアで最も深閑としていた。



**J** 左写真の反対側を見たもの。ぐっと庶民的になる。



**K** 氷川神社近くにある勝海舟邸跡の木碑。1859年から68年まで住み、海舟は「氷川翁」とも言われた。



**L** 在日米国大使館の職員宿舎。